

稲沢新夏祭り
ZAWA友FESTA 第4回 ザワトモフェスタ**ZAWATOMOFESTA VOL.4**
AT GREEN SPARK CHUO PARK
2014.09.13 [SAT] AM10:00-PM18:00**事後報告書**

平素より、弊団体へのご理解・ご協力、誠にありがとうございます。この度、多大なるご協力のおかげで第4回 ZAWA 友 FESTA を開催し、無事に成功を取ることができました。改めて御礼申し上げます。この「事後報告書」では簡単にではありますが、イベントの様子や収支などをご報告させていただきます。なにかご質問・ご意見がございましたら、遠慮なくご連絡頂ければと思います。

イベント概要

【名称】稲沢新夏祭り 第4回 ZAWA 友 FESTA
 【日時】2014.9.13 (土) 10:00 ~ 18:00
 【場所】稲沢グリーンspark中央公園
 【来場者】約 1500 名 (未就学児童・乳幼児を含む)
 【後援】稲沢市 / 稲沢市教育委員会

**“新”夏祭りとは…?**

従来の地域催事から良い部分を引き継ぎ、加えて若者ならではの視点でコンテンツを催し協賛企業、地元店舗、出演者と来場者との相互交流を図り、スタッフにも参加することでメリットを得られるものを目指す。

**宣伝媒体**

- A4 チラシ 3000 部 : 小川歯科 / 犬猫病院ゆいまーる / 猫の手カフェ 美容室 ema / カフェらん / 稲沢市民会館 稲沢中央図書館 / 祖父江図書館 / 平和図書館 セブンペルクリニック院内向け / 風音 インコントラレ / 珈琲倶楽部 B / 早田珈琲 町家かふえ / カフェラ・クチーナ 申揚げむらかみ / スナック M / パブリックささ木 スナックセシリア / 一宮市本町のエステ店 JA 愛知西大里東支店 / カットコムズ 大里市民センター / 一宮市民活動支援センター 研修南保育園 (一宮) 名古屋市民活動推進センター リーフウォーク周辺約 300 世帯ポスティング ※敬称略



- WEB による宣伝 : ZAWA 友 FESTA 公式 HP : プログマガジン「カザーナ -CAZANA」ZAWA 友特集 : スタッフ・出演者・協力者 SNS / ブログ
- その他メディア : 読売新聞記事掲載 中日新聞記事掲載

出演 / 出店

- 稲沢ハモリフェスタ 2014 Fire(POPSTEP) キッズダンス / ケミタストーリー / たべものがかり / jiji ZOO!! / Go RinG LanG / 右向け右 / ふるきよ / ミロック・ボサツ / Naked ソーラン / オハ・ヨーコ / まあ一家 / Dolce / Physics / いぬとねこ / PILOT
- ざわとも市 kozutsumi [キャンドル / スマホケース / ミニ四駆] zakka_31 [木工作品 / リース] Atelier Photogis [雑貨] 市川咲希 [美濃焼カップ / 一輪挿し / 置物] ハンドメイド SHOP *ぶち姫* [雑貨] who is... [羊のオブジェ] Pottery [木][kiln 陶器] ハート*フール [メヘンディ (ヘナタトゥー)] サボテン Taiwa [ザボテン] 黒ねこ意匠 [雑貨] ドルチェ工房 [シフォンケーキ / マフィン / クッキー / アイスコーヒー] SUNDAY*E!!! [雑貨(紙)] Angel flower [ブリザードフラワー / ワークショップ] Blue-Mallow [雑貨] アトリエローズ [雑貨(ビーズアクセサリー)] soeurs [雑貨] こだわり手作り耳かきやさん 重左衛門 [耳かき / 孫の手] 寺前奈々 [陶器] こむぎ君のキッチン [カキ氷 / ワッフル / クッキー] S・G・U・HOME [キルトポーチなど] Monomaking Factory Torute [革製品] La Munro (ラムーノ) [ワイン] 萬望工房 [京和菓子] M-LABO [雑貨] overflow [東映紙ものアソート / その他] 陰陽五行占いベースケ [占い] まちプロデュース [活動内容展示] ウエナカ革彫刻 [革小物]
- いなざわ Cafe コレクション Chico Cafe

◆稲沢ハモリフェスタ 2014

- ・見直しが必要な箇所としては、音響関連で数回、音が飛んでしまうトラブルがあった。理由はパワーアンプの容量を超える音量が入力されたためであるが、野外は音が相当流れるため、発音部の増強は必須かと思われる。音量を把握し、機材等で工夫する。
- ・ハモリフェスタがそれとわかる看板、装飾等が一切なかったので、設置する必要がある。
- ・ステージ周囲の囲いが外れるトラブル有り。次回は素材を変更し防止を図る。
- ・ダンスユニットの出演がいまいち薄く、もう少し効果を含ませた演出が必要。
- ・出演者の枠をしっかり理める。
- ・ダンスの使い方が不十分であった。小中学生を呼ぶことができたが、もう少し活用方法を考える必要がある。また、参加者からの波及を考えたほうが良い。
- ・事後報告は今後すべての大学に送る予定。JP アクト、高知工科大学からの出演者の反応は良好。
- ・方向性はある程度定まっている。
- ・リーフウォークと調整できれば、スピノフを考えたい。
- ・大学ごとのハモリフェスタを検討していきたい。

コンテンツ リーダー 所感

進行としては特に滞ることなく、一日を通してアカベラというテーマに沿って運営できたと思う。時間に関しては何より、司会進行の西浦氏の尽力による部分が多い。今回のイベントを経て、今後の野外イベントの運びが全て把握できたので、今後は企画の実現性のクオリティに注力できよう。



◆いなざわ Cafe コレクション

- ・企画から大きく方向性を変更したもので、今回一番時間に余裕がなかったコンテンツであり、実際問題コンテンツとして成立していなかったように思う。次回まで時間を掛けて形作ることが必要である。
- ・1店舗での開催となり、今後のカフェミーティングの活動に不安を残したが、チコカフェの協力によりいくつかのオプションコンテンツの実施ができた。今後に活かしたい。
- ・豆挽き体験、利きコーヒーに関して、体験者数は少なかったものの、ホット用の豆とアイス用のコーヒーの味の違い、また、実際に豆を挽いたコーヒーの味の違いを伝えることができた。
- ・今後の活動案として、稲沢カフェミーティングでの議論内容を基盤としたスピノフ等の企画作り、稲沢市内の喫茶店との交流を深めていく。
- ・ZAWA 友 FESTA コラボ商品を継続的に出す、アカベラを交えたイベントを継続的に行うなどの小規模な取組が効果的では。
- ・出店者を巻き込んでいくには、メリットを提示することが重要。
- ・稲沢のカフェがブランド化するにはどのようにすべきかという点については論点が定まっていない。
- ・話し合いの場としてのカフェミーティングの活用方法を考える必要がある。
- ・出店者を手伝うことで、出店者の視点が持てたことが良かった。
- ・コンテンツについてはスタンプラリー以外は実施することができたので、良かったのではないかと。
- ・利きコーヒー、豆挽き体験は3名。「匂いがよい」等の反応があった。コーヒーを飲みたいという客は多かったように思える。
- ・稲沢で質の良いカフェという数そのものが多いわけではないので一店一店の付き合いを大切にすることが必要である。



コンテンツ リーダー 所感

当初3店舗出店予定ではあったものの、諸事情で1店舗での企画実施となりました。売上や出店数を見れば非常に残念な結果に思えるところですが、企画体験者の反応やブログによる出店店舗紹介、企画趣旨を考慮すると、得られたものは出店者も企画者も多かったと思いますし、非常に良い結果だと言えます。今回はいかなれば小規模での開催ですが、協力してもらえ店舗が増えれば増えるほどより良いものになっていく企画内容であると考えています。今後の課題としては、稲沢カフェミーティングの定期開催によるオーナーさんとの交流とスピノフ企画の実施等あげられます。また、企画者、出店者ともに継続可能な企画作り、組織作りを力に注いでいく必要があると感じました。



◆ざわとも市

- ・今回を以って出店者の集客は期待すべきではないということを感じたため、これを昇華させるためにはとにかく多くの人を来場させることが急務である。
- ・様々な出店があり面白かったが、ニーズが特殊だったので集客につながらなかった。また、出店者による集客はあてにならないのではないかと。
- ・アンケートを実施した。5店舗から回答あり。良い意見も悪い意見もある。
- ・マルシェなどとタイアップすれば良いのではないかと。個別に人を集めることは過大な労力がかかる。
- ・出店予定は28店舗だったが、2店がトラブルによって当日出店できなかったため26店舗となった。(観覧の病氣:1件、当日の交通トラブル1件)
- ・事前の広報活動:石黒・広田が中心にFBで出店店舗の紹介を行った。
- ・当日スタッフとして野上、広田が参加。集金・出店店舗対応・本部に常駐などを実施。
- ・まちプロ推葉が当日4名のまちプロ関係者を連れて出店店舗向け写真制作や出店者同士の交流促進を実施。
- ・テント2個、会議机2個、イス5個を貸与頂き、用具のない出店者に貸すことができた。

コンテンツ リーダー 所感

近隣のマンションに個別訪問するなど住民への周知と、当日可能な範囲でのピラ巻きや声掛けを実施すべきでした。また、出店者の提出書類の確認不足から電源に関する認識の違いが生じ、当日トラブルになるなど準備不足が露呈してしまいましたが、内輪採めなどなくメンバーの雰囲気も良かったと思います。出店者様にもライブを楽しんで頂いたようで、出店店舗のアンケートで厳しい意見もある中、「また出店したい」「良い取り組み」「売上が上がった」などの声も頂きました。

◆全体

狙い

- ・会場をグリーンパーク中央公園へ変更し、ステージ他のハードを自力調達できる力をつける事。
- ・市民会館に比べアクセスの良い環境下で祭の周知を図る事。
- ・コンテンツを会の趣旨を踏まえた3つに絞る事で会の活動の方向性を明確化する事。
- ・組織体制をコンテンツ毎のチーム制とし、軌道に乗せる事。

結果

- ・ハード面に関しては低予算でのステージ組、机、椅子等の備品の調達ができた。ただし、装飾等が不十分であった。
- ・アクセスの良さを活かした集客が思うようにできなかった。リーフウォークとの協力体制が十分に構築できなかった事により、敷地内での広報禁止、シャトルバスの利用禁止、撤入撤出時の近隣への対策、祭関係者の駐車場利用禁止等、を受け入れざるを得ない状況での開催となった。
- ・コンテンツの絞り込みにより各コンテンツに充てる人員が増えたが、実際には割振りに偏りがあり、スタッフの能力を十分活かすことができなかった場面がいくつかあった。
- ・来場者の滞在時間が短く、効果的に足止めをするコンテンツの必要性を感じた。
- ・ハモリフェスタ参加を呼び掛ける段階でJP-act他アカベラサークル、大学等との距離を縮められた。
- ・ざわとも市では28店舗の参加者を集められたが、クリマの効果的な実施方法については課題を残したと感じる。
- ・一部出店者より厳しい意見があった。会と出店者の意識共有が不十分であった事に大きな原因があると感じる。
- ・初めてコンテンツごとに担当を分けた形の運営を行ったが、結果として良かったのではないと思う。
- ・まだまだではあるが、今回を経て大きな枠組は出来上がった気がする。
- ・今後の課題としては集客を運営側でしっかり作るため、広報を早い段階から戦略的に行うこと。
- ・協賛金を集めるための活動を行うこと。50万円は集めたい。
- ・運営担当の固定。運営もコンテンツの一つと捉え、ここに関わるメンバーを割り振る。
- ・当日スタッフの増員。コンテンツの担当者ははっきり言って当日には疲弊して使いものにならない。
- ・加えて自分の作り上げたコンテンツを外から見たい環境を整えておきたい。
- ・会場の設営・撤去期間を多めに取ったほうがよい。準備に1週間。片付けは翌日までくらいは会場を確保したい。
- ・今年が終わって一息つきたいところではあるが、実際まだまだ課題が山積みなので一日の早いスタートをきる必要がある。
- ・全体の流れが構築できたことがプラス。
- ・広報が弱かったため、集客につながらなかったことが課題。看板等により集客をすすめることが重要。予算のうち半分くらいは広報に使ったほうがよい。
- ・運営については、コンテンツが自立して動くことができなかった。運営のみに注力することができなかった。
- ・集客、協賛、人員募集ができなかった。ゴールのイメージがないまま活動しても続かない。また、自主性を持って参加する人を増やしていく必要がある。
- ・直前のスケジュールがタイトすぎた。年明け前から動いたほうがよい。
- ・スピンオフについては、あまり力を入れずに収益が得られる体制を作っていく必要がある。
- ・稲沢とゆかりのあるメンバーを集めたい。各コンテンツに5人程度は必要。現時点では受け皿になる体制がなかったため、公募してこなかったが、今後は検討すべき。



◆その他

- ・稲ロックフェスティバルに参画している文理大学の栗林教授と話をした。7年前よりゼミの関係で一宮モーニングと関わりを持っている。今後の協力体制を作っていけたらよい。
- ・ZAWA 友 FESTA 実行委員会のHPが必要。何をしている団体なのかかわからないと人が集まらない。HP担当は赤崎→丸山に変更する。スタッフを集める際の基礎となる。
- ・HP上では、メンバーの紹介を行いたい。
- ・必ずしも毎年祭りをやる必要はない。また、各コンテンツを同時に実施する必要があるのかどうかは考えるべき。たとえば、ハモリフェスタを市民会館で実施するなどの工夫が必要。
- ・スピンオフを主体として継続性を強化した方がよい。



収支報告

収入		支出	
出店料	81,000	ステージ設置費	100,000
前年繰越金	84,000	デザイン料	35,000
		チラシ印刷代	10,000
		機材レンタル・オペレータ	10,000
		雑費	10,000
	計 165,000		計 165,000



総括

●第5回ザワトモフェスタに向けて

第4回ZAWA友FESTSA 無事終わることができました。

昨年の反省を踏まえ、より若者らしく、より稲沢らしい祭ができるようスタッフ一同取り組んでまいりました。

今年は会場をグリーンパーク中央公園に変え、またコンテンツを3つに絞っての開催ということもあり、各コンテンツさまざまな課題を残しながらも有意義な祭を実施できたと感じています。

関わってくれたすべての方々、またスタッフの皆さんには本当に感謝しています。

目玉である「ハモリフェスタ2014」は、学生から大人まで幅広い層をターゲットとし、稲沢をアカベラの聖地とするべく、実力のある歌手を大勢招き、近隣であまり例のないアカベラのライブを行いました。

素敵なハーモニー、きれいな歌声は誰が聴いても心が和むものです。

そんな歌がこの稲沢の街のいたるところから聴こえてくるならどんなに素晴らしいだろう。

このステージを見た人たちが何かを感じ、新しい何かを始めるきっかけになれば。そんな願いをこの企画に込めました。

今年の経験を活かし、来年また素晴らしい祭ができるよう運営としても努力していきますので宜しくお願いいたします。

我々ZAWA友FESTSA 実行委員会のスタッフは、趣旨に賛同した有志が十数名と少数ですが、それぞれが力のかぎり稲沢の発展を夢見て粉骨砕身、努力してまいりました。

こうした状況の中、応援していただいた皆さまおかげで、今年の来場者は昨年を大きく上回る1500名を数えることができ、少しずつですが、確実に成長の兆しを感じることができるようになってきております。

我々といえども、この成果に満足することなく、今後とも熱意をもって地域のために尽力してまいります。

皆さまにおかれましても、今後の稲沢の発展および我々の活躍をご期待いただけると幸いです。

最後に、見返りを求めることなく、まだ未熟な我々を信じご協力いただきました皆さまへの感謝と、ただ純粋にこの稲沢への郷土愛のために準備に尽力してきたスタッフ達への敬意をもって総括とさせていただきます。ありがとうございました。



理事長 岩田 周作



NPO法人 ZAWA友FESTA 実行委員会

〒492-8213 稲沢市高御堂二丁目13番25号 TEL: 090-2945-5664

E-mail: iwatacha_n@yahoo.co.jp